ちいきのげんきを発信中！

第1回全国公募『丹の里（まごころ）ありがとう！感謝のメッセージ』入賞作品㉕

全国から寄せられた心温まるメッセージ349点の中から入賞作品を紹介します。

母さんが離婚した時

「おめでとう今日から『マルイチ』俺、応援していくからな、がんばれよ！」

メール嬉しかったなぁ。

中三のあなたによって初めて気付かされた。（私は「バツイチ」でなく今日から「マルイチ」今日が私のスタートの日）

あなたの真の強さ、優しさ、そしてこのウイットに脱帽！

「ハナマル」いっぱい咲かせるよう努力していくつもり。

ありがとう！

大阪府藤井寺市　匿名　女（46歳）

ディスカバー！丹波のきらめき企業 Vol.28

日本紙器株式会社

［会社概要］
- ■所在地　兵庫県丹波市春日町平松81番地
- ■電話番号　74-1151
- ■ホームページ　http://www.nihonshiki.co.jp
- ■主な事業内容　段ボールシート・ケース製造・販売
- ■従業員数　175人

未来を包（つつ）装む
日本紙器 株式会社

最近、お腹まわりが気になる西田（27歳：ダイエット中のパパ）が独自の感性で市内企業の“きらめきポイント”をレポートします。私の後ろに見えるのが、段ボールシートを製作する機械です。なんと1日で200㎞つくることができるそうです！

みなさんも普段の生活で一度は、使ったことがある段ボール。「鉄と船以外はすべて包み込む」といわれています。今回の取材では、そんな魔法の箱、段ボールを製造している日本紙器㈱第二工場（春日町坂）を訪問しました。

★丹波のみなさんと一緒に

大阪で創業し、取引先の移転に伴い、本社工場を丹波市に移してから約45年の間、丹波で操業を続けています。そのため、「丹波とともに成長してきた」という思いが強く、毎年、積極的に市内の若者を雇用しています。過去には、敷地内に住民向けの公園があり、子どもたちの遊び場になっていたそうです。「地域のみなさんとたくさんの時間を共有したい」という思いを感じることができます！

★手づくりへの思い

箱以外にも、ダンボールシートを利用してさまざまなものをつくることができます。「お客さまのどんな複雑な要望であっても応える努力をしています」と力強く話してくれたのが管理部長の細見さん。製品はすべてオーダーメイド。機械化が進む現代においても、決して手づくりへの思いは忘れていないのです。

段ボールでできた机といす

★未来に向けての会社

同社のキャッチフレーズは、「未来を包（つつ）装む」です。今の技術では包めないものも、いつか包み込めるようにしたいという未来に向けての熱意を感じます。そんな日本紙器㈱さんが、私たちが想像したこともないような段ボールを製造する日は、そう遠くないのかもしれません。

わが社のきらめく「丹波人」

「会社の雰囲気がよいと近所の知り合いから聞いたので就職を決めました！」と、製造部若手社員の西田雅弘さん。

製造部中堅社員の三浦一彦さんは、「自分の技術をさらに磨き、これから入社する若手社員を育てていきたい」と今後の目標を語ってくれました。　物流部の本庄泰人さんは、「自社の商品が、店頭に並んでいるのを見つけた時、仕事のやりがいを感じることができました」とプライベートでも自社の商品を探してしまうそうです。

左から、三浦一彦さん(32) 本庄泰人さん(28) 西田雅弘さん(21)

ちーたん日記

「つゆ」　ちーたん／作

6月1日（土）「カエルの合唱」

すっかり田植えがおわった田んぼから聞こえるカエルの大合唱にさそわれて、夕方、さんぽにでかけたよ。薄暗くなりかけたあぜ道に座ってみると、あちこちの田んぼから、何百匹、うん、何千匹なのかな？カエルたちの声が、ひとつの大きな響きになって、ちーたんをやさしく包み込んでくれたんだ。

不思議とみんなが同じリズムなんだよ。でも、たまに、一匹だけ調子はずれの声で「ゲコッ！」なんて鳴いているのもいて、アハハッ！おもしろいね。

聞いているうちに、だんだん山が暗くなって、空との境目がぼんやりとしかわからなくなってきたよ。ひんやりとした風と草のかおりとカエルたちの生演奏の真っただ中にいると、時がたつのも、今、どこにいるのかもわからなくなるような、幻想的な気持ちになったんだ。

そういえば、丹波竜と同じ時代にもカエルがいたんだって。すごいな。

1億1千万年ものあいだ、たくさんの命をつないできたから、今の時代にこんな素敵なカエルの合唱があるんだね。カエルの合唱は、静かに力強く、自然に逆らわずに生きるカエルたちの生き様なのかもしれないな。

来月号の「ちーたん日記」もお楽しみに！

丹波の恵み
－たんばのめぐみ－

市では、丹波市の地域資源等を活用した新商品や新サービスの開発を支援するために、「地域資源活用促進等事業費補助金制度」を設けています。平成24年度にこの制度を活用して、新たに開発された新商品や新サービスをシリーズ（全7回）で紹介します。

①鹿肉レトルトパック　「丹波しかくぃ」

活用資源／丹波産の鹿肉

市の地域資源である鹿肉は、食肉精製技術の難しさから、一般家庭はもとより、飲食店などでも流通は少なく、市内でもあまり消費されていない状況にあります。

鹿肉は低カロリーながら、良質なたんぱく質や鉄分を豊富に含む食材です。そんな鹿肉を味付けしてレトルトパックにした「丹波しかくぃ」は、簡単に調理することができ、鹿肉を家庭でも手軽に楽しむことができます。

この商品化を機に、丹波産鹿肉が、新たな特産品として定着することをめざしています。

※地域資源…国の認定を受けた県の基本構想に掲げる農林水産物、鉱工業品、鉱工業品の生産に係る技術及び観光資源

【事業者概要】
株式会社葉山
所在地：青垣町口塩久447-1　☎87－0038
HP：http://hayama.main.jp/musica

鹿肉を利用した「丹波しかくぃ」

調理例。鹿肉の活用範囲の拡大が期待されます